



Asile Flottant 2020.10 © Hiroshi Maeda

# アジール・フロタタン復活展

— ル・コルビュジエと前川國男が残した浮かぶ建築 —

2022.3.23 → 4.3

京都市京セラ美術館 光の広間

10:00 ~ 18:00 (入場 ~ 17:30) 月曜休館



ARCHITECTURAL DESIGN  
ASSOCIATION OF NIPPON



LE CORBUSIER  
ASILE FLOTTANT



FONDATION LE CORBUSIER



京都市  
CITY OF KYOTO



AMBASSADE  
DE FRANCE  
AU JAPON



INSTITUT  
FRANÇAIS

アンステイチュ・フランセ日本  
Institut Français  
Japan



# アジール・フロタン復活展

— ル・コルビュジエと前川國男が残した浮かぶ建築 —

2022.3.23→4.3 @京都市京セラ美術館 光の広間 入場料 100円(税込) 10:00 - 18:00 ※入場は閉館の30分前まで 月曜休館

## 連続シンポジウム

イベント1 3/23(水) 16:00-17:30

モデレーター: 遠藤秀平(建築家・神戸大学名誉教授)  
越前屋依太(書家・京都大学変人講座ディレクター)  
佐藤知久(京都市立芸術大学教授)  
山内裕(京都大学大学院教授)  
テーマ: 越境を語る

イベント2 3/25(金) 16:00-17:30

モデレーター: 遠藤秀平(建築家・神戸大学名誉教授)  
倉方俊輔(建築史家・大阪市立大学教授)  
竹口健太郎(建築家・神戸大学客員教授)  
田路貴浩(建築論・京都大学教授)  
山本麻子(建築家・大阪工業大学准教授)  
テーマ: アジール・フロタンの可能性

イベント3 3/26(土) 16:00-17:30

モデレーター: 竹山聖(建築家・京都大学名誉教授)  
青木淳(建築家・東京藝術大学教授)  
團紀彦(建築家・青山学院大学教授)  
テーマ: ル・コルビュジエと日本建築の現在

イベント4 3/27(日) 14:00-15:30

モデレーター: 遠藤秀平(建築家・神戸大学名誉教授)  
五十嵐太郎(建築史家・東北大学教授)  
加藤道夫(NPO Espace Le Corbusier 代表理事  
・東京大学名誉教授・東京理科大学客員教授)  
山名善之(建築家/美術史家・東京理科大学教授)  
テーマ: 未来への遺産アジール・フロタン

イベント5 3/27(日) 16:00-17:30

モデレーター: 五十嵐太郎(建築史家・東北大学教授)  
光嶋裕介(建築家・神戸大学特命准教授)  
牧紀男(京都大学防災研究所教授)  
米澤隆(建築家・大同大学准教授)  
テーマ: 水辺/可動/ドローイングから建築を拓く

## 展覧会趣旨

アジール・フロタンとは1929年に、ル・コルビュジエが救世軍の依頼によりリノベーションした船「ルイズ・カトリーヌ号」の通称(浮かぶ避難所)です。パリ市内に石炭を運搬するために1919年につくられたコンクリートの箱船で、その船を救世軍が買いとり、第一次世界大戦の影響によりパリ市内に多くいた難民を収容する目的で避難所へとリノベーションしたものです。当時、コルビュジエの元に弟子入りしていた日本人建築家・前川國男がこのプロジェクトを担当し1929年に完成させています。

浮かぶ避難所は、その後セーヌ川に100年近く浮かび続けてきましたが、2000年ごろには避難所として運用されなくなりました。2006年からパリの有志5人により、アジール・フロタンを後世に引き継ぐため、救世軍から船を買取り補修工事が行なわれてきました。2018年には再び内部を見ることが可能となる予定のもと、2018年秋に船内で日本人建築家展を開催する企画を2017年から進めていました。しかし、2018年2月、セーヌ川が増水したことによるアクシデントにより、アジール・フロタンが水面下に呑み込まれてしまいました。(この実現できなかった展覧会は、オルレアンとパリ、そして神戸と横浜において開催することができました)

この窮地を救うため、日本建築設計学会では前川國男が設計した縁のある国際文化会館からの助成を受け、2019年3月からアジール・フロタン復活プロジェクトをスタートさせました。途上、フランスにおける黄色いベスト運動や新型コロナウイルスの蔓延による中断、縦割り行政による工事許可の遅延など様々な障壁に見舞われました。しかし、アジール・フロタンは2020年10月19日に無事浮上。水没から2年8ヶ月水中にありましたが、セーヌ川左岸に再びその勇姿を奇蹟のように現したのです。

本展覧会は、このようなアジール・フロタン復活への取り組みと、100年におよびセーヌ川に浮かんできたコンクリート船の歴史を紹介するものです。

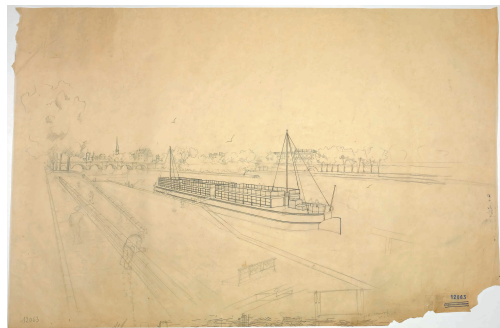
遠藤秀平

建築家、神戸大学名誉教授、

一般社団法人日本建築設計学会副会長、本展プロデューサー



セーヌ川の右岸から 2017  
© Stirling Elmendorf



前川國男作画のパス。  
前川が落書きしたと思われる日本語があり、「明けぬれば、憂しところに、暮れぬれば」と読める(FLC12063)  
© Fondation Le corbusier

プロデュース: 遠藤秀平(建築家・神戸大学名誉教授)  
キュレーション: 五十嵐太郎(建築史家・東北大学教授)  
空間デザイン: 竹口健太郎・山本麻子(アルファヴィル)  
グラフィックデザイン: 藤脇慎吾(フジワキデザイン)  
コーディネーション: 石坂美樹

主催: 一般社団法人日本建築設計学会

後援: 京都市、アンスティチュ・フランセ日本、ル・コルビュジエ財団、  
一般社団法人 DOCOMOMO Japan

協力: 公益財団法人河野文化財団、公益財団法人国際文化会館  
公益財団法人笹川日仏財団、公益財団法人ユニオン造形文化財団、  
国際交流基金パリ日本文化会館、公益財団法人窓研究所、  
アソシエーション アジール・フロタン ADAN(AAFA)

協賛: アーキテツ・スタジオ・ジャパン株式会社、旭ビルウォール株式会社、  
株式会社新井組、アルコニックス株式会社、株式会社アロイ、株式会社遠藤照明、株  
会社大林組、カルチャーハウス香里ヶ丘、株式会社川島織物セルコン、  
元旦ビューティ工業株式会社、三和シャッター工業株式会社、株式会社J-RAISE、  
西部電気建設株式会社、大和リース株式会社、東洋建設株式会社、株式会社TRA・K、  
中西金属工業株式会社、日鉄建材株式会社、飛騨産業株式会社、Forbo、  
共栄製茶株式会社、株式会社ユニオン、淀鋼商事株式会社、有限会社リビングCG、  
和田商事株式会社

本展は、ル・コルビュジエ財団が保有する資料の提供を受けています

Archives de la Fondation Le Corbusier

アジール・フロタン復活プロジェクト ホームページ <http://www.asileflottant.net/>

京都市京セラ美術館 本館 光の広間  
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町124

[お問い合わせ] 一般社団法人日本建築設計学会

mail: office1@adan.or.jp <http://www.adan.or.jp>



アクセス